

なぜモルモン教会はキリスト教ではない？

Copyright© 2009 Mormon Outreach Ministries, Sydney
2014 Revised

モルモン教徒とは？

モルモン教会の現在の公式名は「末日聖徒イエス・キリスト教会」。1830年4月6日、ジョセフ・スミスは24歳のとき、ニューヨーク州でモルモン教会を設立する。ジョセフ・スミスは、神ご自身がモルモン教会を「全地の面に唯一まことの生ける教会」と指定したと宣言した。¹ モルモン教会はキリスト教会の一宗派とは主張していないことに注目することは重要だ。モルモン教会は教会指導者とモルモン正典をとおして、「全地の面に唯一のまことの教会」と主張している。

モルモン教会の教義と聖書的キリスト教会の教義とを比較検討してみると、以下の重要な分野で互いに矛盾していることがわかる。

1 異なる福音

聖書は「福音（ふくいん）」とは、私たちの罪の許しのためにイエスは、死なれたこと、肉体がよみがえられたことのメッセージ、と教えている。この罪の許しは、恵みあふれる神の無償の贈物で、信仰によって受け取るもので、人の行いや、努力によるのではない（ヨハネ5章24節、使徒15章5-11節、ローマ1章16-17節、コロサイ1章21-23節参照）。

これに反して、モルモン教会は「福音」とは「イエス・キリストの贖罪により可能になった神の救いの計画。福音は、人が神のもとへ戻るのに必要な神の永遠の真理、律法、誓約や儀式が含まれる」と教えている。²

モルモン教会はイエス・キリストの贖罪をとおして、「救い」（注：条件付の救い）または「昇栄」（注：天の「日の栄えの王国」における最高の階級に住み、「永遠のいのち」を得ること。昇栄を受けたものは、神々になる）を受けるためには他の働きが必要、と教えている。モルモン教会の会員になることや、—収入の什分一の献金を納めること、十戒を守ること、「知恵の言葉」に従うこと（注：酒、タバコ、コーヒーなどを飲まないこと）や純潔の律法を守ること—などをとおしてモルモン教会への服従が含まれる。このことは、次のモルモン教会の『信仰箇条』第三条に明確に示されている。「わたしたちは、キリストの贖罪により、全人類は福音の律法と儀式に従うことによって救われ得ると信じる」³

モルモン教会は教理で（永遠の命をうけるためには）恵み（イエスのうちにある神からの無償の贈物）に律法（従わなければならない「戒め」）を加えている。

2 異なる正典

福音主義のクリスチャンは、正典とは、正典性を確定された聖書の66冊の書物と信じる。聖書は、完全で信頼できるとも信じている。

これに反して、モルモン教会は4つの書物 — 『モルモン書』 『教義と聖約』 『高価な真珠』 と聖書（注：モルモン教会の英文公認の聖書は欽定訳聖書。日本では、日本聖書教会の口語訳聖書使用）—を公式の正典（『標準聖典』）と認めると主張している。⁴ モルモン教会預言者の靈感を受けた言葉も聖文とみなされる。⁵

モルモン教会の聖書の教えは、権威ある神のみことばである聖書を蝕んでいる。聖書は「正確に翻訳されていない」し、不完全である、と教えている。⁶ この教えは、ジョセフ・スミスや他の

預言者が啓示されたというモルモン教理と不調和する聖書の箇所を、モルモン教会が「再翻訳」したり、無視することを許してきた。

ジョセフ・スミスは自分で聖書の多くの部分を再翻訳した。原本へのアクセスもなく、ヘブライ語、ギリシア語、アラム語の知識がないにもかかわらずだ。例として、ローマ 4:16 のジョセフ・スミスの翻訳と口語訳聖書の翻訳とを比較してみる。

口語訳 「このようなわけで、すべては信仰によるのである。それは恵みによるのであって、すべての子孫に、すなわち、律法に立つ者だけにではなく、**アブラハム**の信仰に従う者にも、この約束が保証されるのである」

ジョセフ・スミス訳聖書 「このようなわけで、あなたがたは信仰と行いにより、恵みを通して義とされるのである。こうして約束がすべての子孫に、すなわち、律法に立つ者だけでなく、わたしたちすべての者の父であるアブラハムの信仰に従う者にも保証されるのである」(追加强調)

3 異なる神

聖書は、神はただおひとりで、とこしえからとこしえまで神であり、全知全能で遍在されると教えている。

これに反し、モルモン教会は、神は、かつては「ある地球」に住み、他の神の支配下にあり、死を免れない人間であった、と教えている。生死を味わった人間として、神は進歩することができ、完全な者へと達し、そのあと自らの努力で神へと昇栄した、とも教えている。モルモン教理によると、人もまた(イエス・キリストに対する)信仰の等級と、地上でモルモン教会の戒め、儀式に対する従順さによっては神々となることが可能、とのことだ。⁸ この概念は聖書に相容れないもので、ただおひとりの神ではとどまらないで、多くの神の存在を紹介している。

結論

末日聖徒イエス・キリスト教会は、本質的に聖書的キリスト教会とは相容れない。異なる福音を教え、異なる正典を信じ、異なる神や数え切れないほどの神々を信じているからだ。このことはモルモン教会は、聖書に述べられ、歴史で実証されているイエスとは「異なるイエス」を真に信じていることになる。

2つの矛盾する信条—モルモン教義と聖書的キリスト教—は、和解不可能である。聖書的キリスト教は、人はイエスを信じる信仰のみで永遠の命を与えられると述べている。一方、モルモン教会は、イエスを信じる信仰を持ち、(バプテズマを受けて)モルモン教会員になり、すべての律法に服従、什分の一の献金、道徳律を守ることで「永遠の命」(注:昇栄、神となること)を与えられる、と教えている。人は行ないによって救われるのか、それともイエスを信じる信仰で救われるか? 人の行ないによって永遠のいのちが与えられるのか、それとも神がイエスを通してすでに成し遂げたことでか? 双方のこういった立場は相反し、同じキリスト教の旗印の下にみなすことはできない。こういった違いは、イエスに従っていくとはどういう意味を持つのか、どのようにして神と個人的な関係を持つのかというまさに核心にある。

1 『教義と聖約』 1:30

2 『わたしの福音を宣べ伝えなさい』 (2004年) 70頁 (モルモン教会の公式学習用テキスト)

3 『福音の原則』 『信仰箇条』 注: 『福音の原則』はモルモン教会の公式な学習ガイドで、新教会員が基本的教義の理解を深め、「福音に生きる」過程への推移を助けるために書かれている。

4 『標準聖典』とは「正式に認められ、権威あるものとみなされた神聖な書物」(『聖句ガイド』149頁)

5 少なくとも大会で与えられた生ける預言者の言葉は聖文とみなされる(『福音の原則』54頁) *Teachings of The Living Prophets* p.21, *Doctrine & Covenant Student Manual*, p.144).

6 『福音の原則』 『信仰箇条』 『モルモン書』のニーファイ第二書 29:3,6 ニーファイ第一 13:26

7 President Joseph Fielding Smith, *Answering to Gospel Questions*, 4 vols. (Salt Lake City, Deseret Book Co.1957,1963).2:144

8 『福音の原則』 47章:昇栄